

**目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握 表現が困難な方や訴えの少ない方の思いの把握が難しい。	表現が困難な方も含め、利用者一人一人の思いや意向を出来る限り把握する。	センター方式のアセスメントツールを使いまず職員受け持ちの利用者の5分間トークを行いながらシートを埋めていき、全職員で共有する。又、思いが把握できたら、その思いがかなえられるよう努力していく。	3ヶ月
2	10	面会、家族会とも家族の来ホーム状況に偏りがあり、一部の家族の意見を聞くだけになってしまっている。	利用者一人一人の家族との関係を密にする。	面会時には居心地の良い空間で長居できるような配慮をする。家族参加型の行事を計画する。利用者、家族、職員、運営推進委員参加の食事会の開催。家族に向けた個々の利用者状況のお手紙の送付を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。